



## 2学期の折り返し！目標をもって！

2学期も後半に入りました。10月28日（月）には合唱コンクールが無事、終了しました。多くの保護者の方々にも来校していただき、生徒たちはこれまでの練習の成果を発揮することができました。また、今年度は学校開催ということで、何かとご迷惑をおかけいたしました。

大きな行事が終わりましたが、これまでの中で培った力を、生活・学習に是非生かしてほしいと思います。みんなで協力して頑張ったことは、学習にも通じるものだと思います。一人ではなかなか取り組めないことでも、お互いに励まし合ったり教え合ったりして、ともに向上することができることでしょ。

また、10月30日（水）には所課長訪問が行われ、3名の先生方が都和中に来校しました。参観に来られた先生方から、「都和中の生徒達は、落ち着いて授業に臨んでいてとても素晴らしいですね。」とお褒めの言葉をいただきました。みなさんの頑張りが、多くの方に評価され、大変嬉しく思います。

9年生はいよいよ11月6日（水）に県学力診断テスト、7・8年生は11月8日（金）に実力テストが行われます。そして11月27日（水）には全学年とも、期末テストが実施されます。集中して授業に臨み、家庭学習を充実させて学力向上が図れるように支援していきたいと思ひます。

また、11月14日（木）から、二者面談（7・8年）、三者面談（9年）を実施します。7・8年生は夏休み以降の生活や学習について生徒と担任とで面談を行います。9年生は進路選択を中心として生徒、担任、保護者で三者面談を行います。9年生の保護者の方々にはお忙しい中ですが、どうぞよろしくお願ひいたします。

### 「都和の10の約束」 （今月の重点目標）

☆毎日、家庭学習をしよう。

茨城県では、教育に関する関心と理解を深める機会として、11月1日を「いばらき教育月間」としています。家庭でも学校でも、落ち着いた環境で主体的に学習を進めていきましょう。

## 11月の生活目標

「期末テストに向けて  
計画的な学習を進めよう。」

## 「人生をよくする 三つの幸せ」

人間の幸せは三つあると言われています。

一番目は、何かをもらうという幸せです。しかし、それは子どもの幼稚な幸せだと言われています。

二番目は、できなかったことができる幸せです。

三番目は、人を助けてあげる、親切にしてあげる、人に手を差し伸べてあげるといった「あげる幸せ」です。

### 「人生をよくする 三つの幸せ」

#### 「してもらう」幸せ

皆さんが生まれてからお腹がすいて、顔中口みたいにして大きな声で泣くと、おしめを取り替えてくれます。抱っこしてもらいたいと思って泣けば、抱っこしてもらえる。抱っこしてもらったりお乳をもらったり。おしめを取り替えてもらおうと、今まで顔を真っ赤にして泣いていた赤ちゃんは、泣き止むというふうに。

何かをしてもらうとうれしい。これは「してもらう」幸せです。

#### 「できるようになる」幸せ

子供が三つぐらいになると、それまで母親から食べさせてもらっていたご飯を、自分で食べなくなります。母親が食べさせようとする、お茶碗と箸を取って自分で食べようとする。今まで出来なかったことができるようになるとうれしいから、ご飯をポロポロこぼしながら。でも自分で食べるようになります。

もう少し大きくなりますと、自転車に乗れる、鉄棒が出来るようになる、学校で、いままで跳べなかった跳び箱が跳べるようになるというふうに、いままでできなかったことが、「できるようになる」幸せがあります。これが二番目の「出来る幸せ」です。

#### 「してあげる」幸せ

三番目がいちばん大事ですが、皆さんがお父さんやお母さんから何か頼まれて、それをやってあげると、お父さんお母さんは非常に喜びます。あるいは、友達に何かしてあげると、友達が喜ぶというふうに「何かしてあげる」と人がとても喜びます。そして、人が喜んだ姿、喜んだ顔を見たときに、自分が幸せになります。これがもっとも大事な幸せです。

いつも人になにかをしてもらわないと幸せになれない人、それから自分さえできればいいという考え方のような人では、駄目で、人に「何かをしてあげる」幸せが大事だということです。

この三番目の幸せを感じるようになるとどんどん人生はよくなっていきます。どうしてよくなっていくかという、この「(して)あげる」幸せのできる人の周りには、非常に善良な「人のいい」人たちが集まってきて、そのいい人たちと人生を送ることができるようになるからです。だからどんどん人生がよくなっていくんです。

※自分の心がけ次第で、人生を変えることができるのです。人生がよりよくなるために、考えてみてください。



「運命の逆転」  
高橋佳子 著  
より抜粋